

**絶対信仰 (マルコ 15:39-47)**

信者が世の思想や人の声、自分の経験などに染まるのは、人がどうかではなく、信じた信仰が絶対信仰となっていないからです。神様は信仰が絶対信仰となることを願っておられます。絶対信仰の内容と、その力は何でしょうか。

**1. イエス様へ絶対信仰告白は暗闇を砕く。**

1) この世で何と言おうとも

この世はイエス様は4大聖人のひとりだと言ったり、キリスト教という宗教の創始者だと言います。イエス様はそのような方ではなく、神の御子であり、万軍の主、創造主、悪魔の頭を踏み砕いて勝利されたキリストです。

2) 教会が違うことを教えても

教会でも、イエス様のことをバプテスマのヨハネのように社会主義を貫く偉い人、エリヤのように神秘的な力を持つ方、エレミヤのように博愛主義の方、預言者のひとりのようにかたい教理を守って教える教師だと思っています。

3) 自分に何が起きても

自分に起こったことで、イエス様をگریやくのために必要だと思っています。

4) 「イエスはキリスト」の信仰は絶対

絶対信仰がないと、つまづくようになります。

健康や病気、裕福や貧乏、成功か失敗かそのようなこととは関係なく、イエスはキリストです。問題がなくても、苦難や試練があっても、イエスはキリストです。イエスはキリストという告白は絶対的なことです。イエス様は、サタンを打ち砕くまことの王、地獄から解放するまことの預言者、わざわいを止めるまことの祭司です。唯一神様が与えられた道であり、いのちです。イエスがキリストであることは変わらないのです。

**2. 十字架の福音を誇りに喜ぶと、いのちの運動が行われる。**

十字架の福音を誇りに思い喜びましょう。福音を持つ人を通して行われることを契約として握りましょう。能力、条件、環境は関係なく、神様がなさいます。

1) ローマ 1:16-自分の救い、他人の救い

パウロは、十字架のことばを、ものすごく誇っていました。福音は私を救う神の力だと言い、他の人も救う力だと言いました。

2) イエス様が私の中に

すべての問題解決、新しく生まれ、ミッションの人生、御国の保証、御座のバック、ローマ 8:39,37,28

イエス様は信じる私の中におられ、永遠に住まわれます。神様と私の間の壁がすべて砕か

れて、主の前に出る新しい道が開かれました。十字架を通して三位一体の神様が私の内に留まられるようになりました。それがいのちです。どんな過去も、いまのどんな問題も、いっさい関係なく、私の中のキリストはすべて終わらせてくださいました。だれにもできませんが、だれでもイエスをキリストと信じるなら、すべての問題は解決して、以前の私は死んで、新しいいのちによって新しく生まれ変わっています。一度きりの人生を私の願いのためではなく、絶対価値のミッションのために生きるようになります。いままで引きずっていた心の傷をミッションの材料に変える力が福音にはあります。聖霊が内におられるからです。天国が保証されていて、御座が背景ですから、御座の祝福によって圧倒的な勝利者となります。その祝福から引き離すものは存在しません。それゆえ、パウロは自

分の弱さを誇ると言いました。

3) ローマ 5:1-2

神様の栄光を待ち望んで大いに喜ぶ人となっているのです。

4) 詩篇 23:1、ピリピ 3:18、1コリント 2:2

すべて祈りに変えて、どんなときも御座を見上げて歩みましょう。福音を誇り、神様の栄光を待ち望みましょう。福音があるから自分は世からどのように見られても、尊い存在であると知りなさいと、使徒 1:7-8 でイエス様は語られました。

自分に一番影響を与えた話の前に、「イエスはキリスト」と告白しましょう！自分一番辛いことの前で、「イエスはキリスト」と告白しましょう！信者の痛みはキリストへの絶対信仰に整え、そこからミッションの人生を始めるためです。救いの祝福を喜ぶ祈り、救いの力が現れる祈りをしましょう！

1部-マルコ 15:39-47 絶対信仰

なるほど/イエス様への絶対信仰を持つと、世の染まることなく暗闇が砕かれ、十字架を誇りに思い喜び、いのちの運動につながる。

ならば/一番影響あるお話や一番困ってることを前に「イエスはキリスト！」と告白しよう！それで、痛みを通してミッションを見つけよう！救いの祝福を喜ぶ祈り、その力が現れる祈りを捧げよう！

2部-マタイ 5:1-12 幸せへの概念修正

なるほど/人のことを正しく理解することで幸せに対する概念が修正されキリストが幸せになり、キリストにある幸せを味わう人生を生きることになる。

ならば/自分は幸せなのかどうかを問い、聖書が教える通りに概念を修正して、幸せの確信を持ち、祈りの中で幸福タイムを持とう！